

夫婦で専業農家をしていて、ししと  
う、葉たばこ、水稲と、昨年からゴー  
ヤも作り始めました。昔と比べて機械  
が進歩したので、体力的には随分楽に  
なりましたね。  
道の駅南国風良里で毎週火曜日(※)  
にオープンしている農家レストラン「ま



次のメニューを考  
えるのが楽しみ！

しまさき ちづ さん  
島崎 千津さん  
(大埴甲)



ほろば畑」に参加しています。まほろ  
ば畑では、市内の農家の女性で結成さ  
れた5つのグループが順番に料理を提  
供していて、それぞれのグループがこ  
だわりを持ったメニューを提供してい  
るんですよ。  
同じ農家の女性が集まっているので、  
毎回みんなと話をするのがとても楽し  
く、自分にとっては仕事というよりは  
趣味みたいなものですね(笑)。いつ  
も「次のメニューは何にしよう？」と  
いう話をしています。  
趣味は、5、6年前から始めた釣り  
です。夫婦で熱中していて、仕事など  
のスケジュールを調整して2人で出か  
けています。夢は、海外旅行へ行くこ  
とと、本格的な登山をすることです。  
登山は体力的に難しそうです(笑)。  
「仕事も遊びも笑顔で」がモットー  
です。どうせやるなら何でも楽しくや  
りたいですね。だから周りからはよ  
く「前向き」って言われます(笑)。  
※カフェレストラン風良里が営業する祝日・  
GW・年末年始は除く  
笑顔がとても印象的な島崎さん。取材  
をしているだけで、たくさんエネルギー  
をいただきました！

市民からのお便り (親子クイズ) 調味料の英語表記って、

あらためて書くのって大変そうですね！

親子クイズ 519

Q 高知の米どころ南国市、稲刈りも始まった水稲からの問題です。  
①～③に当てはまる言葉は何でしょう？

白米になるまでには「稲刈り」→「脱穀・乾燥作業」→「もみすり作業」  
→「精米作業」があります。

脱穀作業では、①と稲わらに分かれます。

もみすり作業では、②ともみ殻(すりぬか)に分かれます。

精米作業では、白米と③に分かれます。

【第518回解答】

電子レンジ

※電子レンジの正式な表記は  
「Microwave oven」ですが、  
「Microwave」だけでも使い  
ます。

【第518回当選者】

岩内 真由美 (領 石)  
尾崎 翔 (大埴甲)  
刈谷 由佳利 (岡豊町)  
矢田 正江 (小 籠)  
山崎 由美 (岡豊町)

■応募締切／8月14日(金)必着  
■あて先／〒783-8501  
南国市大埴甲2301  
南国市企画課「親子クイズ」係  
※はがきで応募  
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に  
図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／70通 ★正解率／51%  
親子クイズは、広報委員が毎月順番に  
考えています。

市民からのお便り (親子クイズ) 答えに少し悩みましたが、問題の「オーナーハイ、出来上がり」を見てわかりました。

54 人権学習シリーズ

ハートラムという超低床の路面  
電車が走っているのをご存じです  
か？体の不自由な人やお年寄りな  
ども含めて、すべての人が安心し  
て乗降できるように、普通の電車  
より乗降口の段差が低くなってい  
る車両のことです。  
このように、障害の有無や年齢  
などにかかわらず、すべての人の  
快適さや便利さを考えた「ユニバ  
ーサルデザイン」の乗り物や施設  
が、私たちの身近によく見られる  
ようになってきました。  
先日、ある学校を訪れる機会が  
ありました。教室をのぞいてみる  
と、黒板周りが非常にすっきりと  
していると感じました。授業中、  
子どもたちの視界にいろいろなも  
のが入って気が散らないようにし  
ているそうです。  
この学校では教室環境を工夫す  
るだけでなく、授業の中でグルー  
プでの話し合いや教え合いの時間  
をつくりメリハリのある流れにす  
るなど、すべての子供たちが安心  
して授業を受けることができるよ  
うに「ユニバーサルデザイン」の  
視点を授業に取り入れているそう  
です。その結果、子どもたちは以  
前よりも集中して授業に取り組む

姿が増えてきました。  
文部科学省の平成23年度の調査  
によれば、何らかの特別な教育支  
援を必要とする子どもたちが、全  
体の6.5%の割合でクラスに在籍し  
ています。これは、30人のクラス  
の場合でいうと2人いるというこ  
とになります。また、その他にも  
さまざまな刺激によく反応する子  
どもなど、先生方にとって配慮が  
必要な子どももいるでしょう。  
この学校のように、すべての子  
どもたちが安心して授業に向かう  
ことができる「ユニバーサルデザ  
イン」の視点を取り入れた授業が  
どんどん広がって、教室にさらに  
たくさんの子どもたちの笑顔があ  
ふれるといいなと思います。  
\*このシリーズは、あなたとあな  
たの周りにいる人の間に温かな  
つながりが生まれることを願い、  
人権について考えるきっかけに  
なることを目的としています。

※お問い合わせは  
人権啓発広報委員会  
(880・6569) まで

なんこく歴史散歩 第33回

双葉台の中央木材工業団地南側  
に阿波塚と呼ばれる祠があり、付  
近には多くの石仏や地蔵が立って  
います。ここには次のようないわ  
れがあります。  
長宗我部七代兼光の頃は、長宗  
我部家はまだまだ大きな勢力に  
はなっていまませんでした。このこ  
ろ豊永に、小笠原左近太夫とい  
う大豪族がいました。阿波の一部  
で領地があり、香長平野に進出し  
ようと好期をひそかにうかがって  
いました。

阿波塚



阿波塚

時を得て、小笠原氏は阿波兵を  
配下として南に下り、国分の北平  
曾に陣を整え、岡豊に向かって一  
挙に進撃を開始しました。守戦一  
方の兼光は、日頃から信心する岡  
豊八幡宮に戦勝を祈願しました。  
すると、不思議にもお宮がパツと  
明るくなって一振の金の鉦が飛び  
出し、阿波勢の陣の上を縦横無尽  
に飛びまわりました。寄手の阿波  
勢は、おび恐れてただひれ伏すば  
かりでした。  
長宗我部勢は時をおかずに追撃  
し、いたるところで阿波兵を討ち  
とりました。なかでも平曾の戦は  
激烈をきわめ、見るまに阿波兵の  
死骸で山ができました。これを埋

そのため元親は、永禄年間、長  
門国(今の山口県)壁雲寺の高僧  
通安が、土佐の山野を行脚して法  
力を見せているのを知り、魂鎮め  
の法会を行ったところ怪奇な事件  
はばったりと止んだといわれてい  
ます。  
歴史を経  
て、阿波塚  
は今も地元  
の方の手で  
大切に受け  
継がれてい  
ます。

※お問い合わせは  
生涯学習課文化財係  
(880・6569) まで